

ESD21全理事による

気楽なDXについてのお喋り シリーズ第2回目

2022年12月16日

(修正：2022年12月19日)

理事 大鹿秀正

【1】 第1回目のふりかえり

黒岩代表挨拶

経産省の2018年「DXレポート」とIPA「DX白書」

をしっかり勉強してDXについて語っていただきたい

DXの目的はデジタル思考とデジタル技術を使ってビジネス
に変革をもたらす…

ESD21 DX関連事業(TPS事業、国際事業とも関連)

デジタル化を活用した顧客提供価値の変革 (出所：ESD21HP)

データドリブン経営

伴走支援

DXプレゼンテーマ

2回目は

講師	テーマ	キーワード
木村徹	トヨタデザインの業務改善	デザイン思考 パラダイムシフト
大鹿秀正	駆動設計のIT化	設計業務プロセスの 改革
高坂匠	地方自治体のDX	スマートシティ デジタル田園都市
山中誠二	クラウド在庫管理	デジタル技術導入モ デル実証事業
佐土井有里	DX取組現状調査	国際共同研究 ASEAN人材育成

DXのキーワード&フレーズから

経営の基本は人

システムと技術者の世代交代

「量」から「速度」
(スピード・時間)

経営者の実践が必須

DXは変革
・改革

ビジネスとITの両方の知識と経験が必要

目的は価値、幸福より良い生活

DXとは道具や技術の上位概念

成功のカギは戦略・組織能力・実行管理

デジタル化は手段

新たなデジタル技術の活用

トップダウンとボトムアップのバランスが大切

【2】日本のDX遅れについて（中間報告）

DXについて日本の現状（仮説）

- （１）日本が生産性を高めたり、新しい価値創造のためにDXが活用できていない
- （２）ビッグデータやAIの活用はまだ地についでいないし、活用のしかたが下手
- （３）DX推進は官民一体が必須条件ではないが各組織各社バラバラ
- （４）20年前ぐらいから、基礎研究を活かせず米国などに遅れをとった
- （５）世界から学ぶ姿勢が弱くなったのではないか

日本のDXが遅れた原因(3つの視点)

1. **【DXに対する捉え方】** 日本： これまでのIT同様、効率化の道具としてしか見ない傾向が強い
DX先進国： デジタル技術によって世の中が激変するという環境要件としてデジタル技術を捉え、活用しようとする
2. **【思想の相違】** 日本： 「温故知新」昔からの習慣や設備を大事にする傾向が強い
DX先進国： 「成果主義」より生産性の高い手法を積極的に取り入れる
3. **【人材】** 日本： デジタル技術やスキルを持った人材やリーダーが不足
DX先進国： デジタル技術やスキルを持った人材やリーダーが充実
※コロナ禍において台湾では、IT担当大臣であるオー・ドリー・タンが先導し、マスクの在庫状況が一目で分かるシステムをわずか数日で完成させた

出所： DXログ編集部 <https://dxlog.biz/media/atcl-28173/>

出所： 武庫川（むこがわ）女子大学 宗平 順巳（むねひら としみ）

<https://sba.mukogawa-u.ac.jp/marketing/munehira-toshimi/1166/>

出所： 大塚商会HP <https://www.otsuka-shokai.co.jp/erpnavi/topics/dx-mikata/archive/dx-digitalize-solution.html>

ご清聴ありがとうございました